



宇都宮市長  
佐藤 栄一



真岡市長  
井田 隆一

# 開 通 に よ せ て

一般国道408号真岡宇都宮バイパスの開通にあたり、御尽力いただきました関係各位に対し、敬意を表しますとともに、厚く感謝を申し上げます。

宇都宮市東部地域から真岡市を結ぶ国道408号のバイパス沿線は、工業団地が集積しており、本県産業の一大拠点であります。そのようなことから、長年、地域高規格道路である真岡宇都宮バイパスの整備が望まれておりました。

今般の開通により、本市の産業拠点であり、内陸型工業団地として我が国最大規模の清原工業団地や、地域拠点としてのテクノポリスセンター地区と北関東自動車道がダイレクトに接続することから、「人・もの・情報」などの様々な社会活動の交流が活発になり「産業力の強化」、「魅力ある拠点の創造」など、魅力と活力のある街づくりの形成に大きく寄与するものと確信しております。

今後とも、第5次宇都宮市総合計画に掲げる「円滑で利便性の高い総合的な交通体系」の確立に向け、北関東の中枢拠点としての多様な都市活動を支える、質の高い道路ネットワークを整備するため、県並びに関係機関の皆様には引き続き、御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

この度、一般国道408号「鬼怒テクノ通り」の真岡宇都宮バイパスが完成し供用開始されますことは、この上ない喜びであります。

「鬼怒テクノ通り」は、平成17年11月、真岡バイパスの暫定2車線の供用に始まり、平成20年2月には、北関東自動車道真岡ICの開通に先立ち真岡バイパスと真岡北バイパスの一部が4車線で完成供用となりました。そして、今年8月に真岡宇都宮バイパスが暫定供用となり、本日、めでたく完成供用されるということで、整備にご尽力をいただいた栃木県をはじめ関係各位に感謝を申し上げます。

当路線は、東北縦貫自動車道や北関東自動車道などと、コリドールネットワークを構成する重要な道路であり、本市にとっては、北関東自動車道へのアクセス道路としての位置付けは勿論であります。インターチェンジを有するという優れた地理的条件を生かし、高度技術、先端技術産業や研究機能、産業支援機能などの集積を促進するための都市基盤整備事業である、真岡IC周辺開発事業を推進する上でも欠くことのできない主要道路であります。

また、北関東自動車道も平成23年3月に全線開通となり、当路線への期待はますます高まっております。

真岡市といたしましても、「産業の振興による活力に満ちたまちづくり」の実現のためには必要不可欠な道路でありますので、今後も、「鬼怒テクノ通り」の起点であります真岡南バイパスからの早期全線開通に向けて、関係各位の特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。



清原地域振興協議会  
会長 菅沼 栄一

一般国道408号真岡宇都宮バイパスは、私たち清原地区の住民にとって待ちに待っていた道路であり、全線開通にあたりお祝いを申し上げますとともに、開通にご尽力をされた県や施工業者、地権者の皆様には心から感謝を申し上げます。

8月の暫定開通の折には、地域住民をあげてプレイベントを開催し、お祝いをさせていただいたところですが、真岡ICへのアクセスが格段と向上し、その利便性と快適さを既に実感をしているところです。

今後、このバイパスが更に充実し、地域発展の礎となることを願っております。



真岡商工会議所  
会頭 田上 貴

このたびの一般国道408号真岡宇都宮バイパスの開通、誠にありがとうございます。

これで、県道真岡上三川線から国道123号までの鬼怒テクノ通り約11kmの区間が完成し、清原工業団地や宇都宮テクノポリスセンターなどから北関東自動車道真岡ICまでの直接アクセスが可能となりました。経済界としては、物流の発展はもちろんのこと、人と人との交流も大いに促進されるなど、その大きな効果に期待するところです。

今回の開通にご尽力いただいた皆様には感謝申し上げますとともに、引き続き、残る計画区間の整備促進をお願い申し上げます。



清原南部土地改良区  
理事長 岡本 芳明

408号真岡宇都宮バイパスは、清原南部土地改良区の皆様をはじめ、多くの地権者の方々にご協力をいただき、全線開通の運びとなりました。改めて、皆様のご協力に感謝申し上げます。

清原南部では、バイパスが開通したことにより、北関東道へのアクセスが格段と向上し、主要都市への移動や地域の農産物等の物流の要として、経済効果がもたらされることを期待しております。

今後は、北進方面の整備が更に進み、408号が広域的な幹線道路となり、清原地域が益々発展することを願っております。



一般社団法人 清原工業団地総合管理協会  
理事長 明石 賢治

「一般国道408号真岡宇都宮バイパス」の開通、誠にありがとうございます。

現在、清原工業団地内には34事業所が操業しており、県内工業団地の中でも有数の製造品出荷額を誇っています。今回の開通により北関東自動車道真岡ICへ直接アクセスすることが可能となり、物流の効率化などの効果が大きく高まるものと期待しています。

今後は、真岡宇都宮バイパスの全線4車線化及び国道123号との交差点の立体化、さらには、宇都宮高根沢バイパスの整備促進についてもご配慮賜りますようお願い申し上げます。